

初めての栽培を応援

園芸入門

野菜編

初めてのトマト栽培は「アイコ」から

ミニトマトアイコ

作型図	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
寒地 / 寒冷地				●	●	●	●	●	●	●	●	
温暖地			●	●	●	●	●	●	●	●	●	
暖地			●	●	●	●	●	●	●	●	●	

● まきどき ● 収穫期
 ▲ 植え付け時期 ▲ トンネル

発芽適温より気温が低い場合は保温しましょう

※栽培方法・時期は目安です。適温でのタネまき、地域や条件に合わせた栽培をおすすめします。

※トンネルとは気温が低いときに、ビニールフィルムなどをトンネル型に被覆して栽培することです。

おすすめアイテム

＼タネ／



ミニトマト アイコ サカタ交配

＼タネまき用培養土／＼定植用培養土／



スーパー ミックスA®



野菜三昧®

※タネ袋のデザインは変更することがあります。

基礎情報

分類	ナス科
用途	地植え／鉢植え
日当たり	日なた
耐暑性	中
収穫までの日数	90日～

タネをまく前に 毎回確認! タネまき基本3チェック

☑ 気温をチェック

気温が高過ぎても低過ぎてもうまく発芽できません。天気予報などで気温を確認してからタネをまきましょう。特に春は日中暖かくても夜は冷えるので注意してください。

☑ 土の厚さをチェック

発芽するときに光を好むもの、嫌うもの、どちらでもいいものがあります。必ずチェックしてからまきましょう。

☑ 土が乾燥していないかチェック

タネまき後、発芽まではこまめに水やりしてください。発芽するまで乾燥は厳禁。ジョウロでの水やりでタネが流されそうな場合は霧吹きを使ってください。

手順
1

タネまき

発芽適温が20~30°Cと高いので、タネまきが低温期になる場合は加温や保温によって発芽適温を確保しましょう。発芽日数は4~6日前後。タネまきは直径9cmのポリ鉢に直径3cm、深さ1cmくらいの穴をつくり3~4粒まきます。トマトは光を嫌うので5mm程度土をかけ、元の面と同じ高さになるようにします。土はタネまきと小さな苗の栽培に適した「スーパーミックスA」がおすすめです。

手順
2

間引き・仮植え

1回目の間引きは本葉1枚で、2回目は本葉2枚で行い、最後には1株になります。本葉4~5枚のときに直径12~15cmのポリ鉢に仮植えします。定植適期は一番下の花が咲くまでそのまま管理します。草丈が伸びたら仮支柱をしておきましょう。

手順
3

定植

直径30cmの鉢に1株、細長いプランターだったら約40cm間隔で2株を植え付けます。植え付けが低温期になる場合はトンネルなどで保温しましょう。土は初期肥料配合済みでそのまま使える「野菜三昧」がおすすめです。



仮植えしたポリ鉢の土の表面がプランターの土と同じ高さになるように植え付けます。予葉に土がかからないように注意します。

手順
4

定植後の管理

主枝の誘引は支柱に20~30cm間隔にひもで8の字になるように結びます。各節から出てくるわき芽は早めに手でかき取り、主枝だけを1本伸ばすように管理します。わき芽の摘み取りはハサミを使うとウイルス病を広げる恐れがあるので、手で行います。追肥は第1花房および第3花房の果実がピンポン玉程度の大きさになったときの2回を基本として、後は成長の具合を見て適宜行います。



ひもで8の字になるように結び付けます。



わき芽を早めに手でかき取ります。

手順
5

収穫

赤く熟したものを朝の涼しいうちにハサミで切り取り収穫します。

